

中関地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月15日（土） 午後1時～2時10分

【場所】 中関老人研修センター

【出席者】 中関地域住民ほか 計53名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

シンポジウムやアンケートの結果、8割前後の市民が現庁舎敷地を望む中で、なぜ、現庁舎を排除して駅北で進めようとするのか。

◆質問者2

庁舎を駅北にもって来る明確な根拠が欠けている。最終的に決めるにはどちらが市民のためになるか、きっちり検証する必要がある。それが欠けていると思う。

高齢化社会に向かう中、駅北に立派な庁舎を建てて、果たして市民が行くのか。周南の庁舎建設の経緯をインターネットで調べてみると、自治会の意見がかなり反映されている。防府の場合、取組としては今回が初めてといい。これを踏まえて考えて欲しい。生活圏というのは公民館なりが中心なので、公民館の機能を充実させることで、新庁舎の規模をコンパクトに集約できるのではないかと思う。最終的には市の組織の話になるが横の連携とかそういうことを念頭において進めるべき。

●庁舎建設室長

駅北ありきということはどの地区に行っても言われるが、検討委員会で駅北を選んでいただいて、それに基づく計画になっているので説明するとどうしてもそのように映るのであるが、できるだけ丁寧に説明しているつもり。

防災拠点のことや市民に利用しやすいということは当然に必要なことだが、まちづくりはどうしてもよいということにはならない。色々なご意見をいただくが、現庁舎敷地が悪いというわけではないので難しい選択だと思う。

細切れの土地をどうやって活かすのかというと具体性がない部分も多い。地権者などもおられるので明確にできていない。すぐに絵を描くわけにはいかないが、今から少しずつでもお見せできたらと思っている。市役所は単なる事務所ではなく、市民のため、市政のため、地域振興の使命を帯びているということをしっかり認識しておきたい。手

続きも出張所で全部できる時代が来るかも知れないが、手続きではなくて自治会のコミュニティの話し合いに来るとか、市役所に来る目的が変わることも考えている。他所に負けないように防府の潜在能力を活かしていかなければならない。

◆質問者 3

なぜ、便利なところから移動するのか。現庁舎であれば、大きな道路があり信号機もついている。官庁街でもある。立体駐車場は年寄りにとっては厄介。立体になれば、1時間は無料、後は時間によって有料となるのだろう。年寄りに優しいまちづくりをして欲しい。賑わいの空間を作るのは11万7千人の人口ではまず無理。ルルサスの実情を見ればわかる。ダイソーも逃げて静かなもの。市役所が移転したから賑わったという話をあまり聞いたことがない。

◆質問者 4

金額は安いほうが良いし、現状の位置なら議会棟が使えるというのも良い。公会堂がかなり古いという話もあったが、北側を再開発するのであれば、今、挙がっている土地を公会堂にしたら良い。この資料には現状での建替え案がないのでイメージが湧かない。駐車場も立体ではなく、平面が良い。現庁舎敷地に建替えたほうが色々な面で良いと思う。

●市長

検討委員会でいただいた一定のご判断について説明させていただいているので、どうしても駅北ありきではないのかと思われがちになる。検討委員会の判断を無視することは絶対できないので、そういう意味からご説明に上がっていることをご理解いただきたい。市民の声を無視することは絶対にあり得ない。決断されるのは市民である。位置についてお聴きするアンケートを何らかの形でしていく時期が来るのではないか。今はこうやって地区を歩かさせていただいているが、商工会議所や自治会連合会や他の色々な青年団体、老人団体などの諸団体の方々のご意見をお聴きにあがることもしていかなくてはいけない。

公会堂については、耐震補強が可能であり、椅子もゆったりとしたものにしてやっていこうということでようやく設計が通ったところで、公会堂は今ある場所を活用していくという方針を出している。ルルサスの実情を見れば賑わいの創出は今の防府市では無理ではないかというお話をいただいたが、まちづくりは永遠の課題であり、私どもの立場としてしっかりと見据えてやっていきたい。